

8-4-17 参加型計画専門委員会

1. 主な活動の記録

本専門委員会は、建コン事業の参加型計画における市民参加のあり方とコンサルタントの対応検討を目的として、平成 17 年より活動を行っている。

(1) 委員会の開催

平成 28 年 4 月から 10 回の専門委員会を開催した（下表参照）。

表 1 専門委員会の開催と主要活動状況

回数	日付	議事概要
1	4 月 12 日	年度計画の設定
2	5 月 9 日	WG 分担検討（評価手法検討、広報等）
—	6 月 3 日	外部団体との勉強会 1
3	6 月 14 日	WG 検討（評価手法適用、広報等）
4	7 月 12 日	評価ケーススタディの全体討議
—	7 月 30 日	外部団体との勉強会 2
5	8 月 2 日	WG 検討（各 WG の講習会企画）
6	9 月 6 日	講習会資料作成
7	10 月 14 日	講習会資料作成及び準備対応
8	11 月 8 日	講習会の開催
9	12 月 6 日	WG での講習会とりまとめ
10	1 月 13 日	次年度計画策定

(2) 活動概要

a) 市民参加型計画の評価手法

過年度より、社会的活動の効果を計測する手法として、SROI (Social Return on Investment) に着目し、参加型計画への評価適用を検討してきた。

平成 28 年度は、評価・効果 WG を中心に、SROI の適用可能性の検討を具体化させ、建コン事業の事例を活用した適用可能性検討を行った。

また、参加型まちづくり活動を支援する外部

団体と共同勉強会を実施した。勉強会において、任意のまちづくり活動を事例として取り上げ、当該活動主体と協働で SROI 適用評価のケーススタディを実施し、一定の成果を得た。

b) 広報活動

広報 WG が主体となり、広報ツールとしてホームページの運営を昨年に引き続き実施した。今年度は、講習会の案内や参加募集、市民参加型計画の専門家との交流を行い、専門家とのネットワーク形成の取り組みも試みた。

(3) 講習会の開催

昨年度の成果及び今年度の検討を中間的成果としてとりまとめ、「SROI と事業への適用可能性検討」と題して、建コン会員を対象とした講習会を開催した。

SROI の概要、まちづくり活動団体のケーススタディ成果、SROI の参加型計画への導入可能性等についての講習を実施し、まちづくり活動を支援する外部団体からの話題提供も含めて、会場とともに様々な意見交換を行った。参加人数は約 50 名であった。

これらの取り組みは HP 等でも広報し、専門家等との意見交換や建コン会員の参加者の募集も実施した。

2. 次年度の活動について

平成 29 年度は、過年度の活動及び講習会成果に、新たな検討を加え、市民参加型計画における新たな評価手法とその適用可能性として報告書を取りまとめる予定である。さらには、その成果を活用した講習会を開催予定である。

（参加型計画専門委員会委員長 伊藤 将司）